

Press Release



2016年12月14日

コベストロジャパン株式会社

このプレスリリースは12月13日にドイツ・コベストロ社が発表したものを日本語に翻訳したもので、報道関係者各位へ参考資料として提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語を優先します。原文は www.covestro.com をご参照ください。

コベストロ、初めてのCO₂ベース製品を出荷開始

CO₂を使用した原料を初出荷

マットレス用のフォーム原料に温室効果ガスを使用

ドイツ・レバークーゼン、2016年12月13日ー

プラスチック市場にイノベーションが生まれました。素材メーカーのコベストロはCO₂をベースとする新製品を出荷開始し、最初のタンクローリーがドイツ・ケルン近郊にあるドルマーゲン工場を火曜日に出発しました。コベストロは、これで今年の夏にオープンしたドルマーゲン工場での新原料の生産を正式に開始したことになります。ドルマーゲン工場では、温室効果ガスを使用してマットレスやクッションなどの家具に使用されるフォーム材料の主要な構成原料を生産しています。

CO₂は新しい原料として、これまでの構成原料のベースとなっていた石油の一部を代替します。持続可能性に貢献し、先駆的な科学上の功績であるこの新原料の工業生産が本格的に開始されたのです。

重要なマイルストーン

「私達は重要なマイルストーンを達成しました。工場は順調に稼働しており、CO₂を使用して製造した当社の新しい軟質フォーム用の構成原料はお客様に向けて搬送されています。数年前に研究を始めて以来、私たちはこの瞬間を目指して継続的に取り組んできました。ここにたどり着くこと



ができ非常に嬉しく思いますし、この分野でさらに努力を継続するためのモチベーションにもなります」と、プロジェクトマネージャーのカーステン・マルシュは述べました。

コベストロは、さらに製品に CO₂ を使用する取り組みを進めています。ドルマーゲン工場で生産している構成原料「ポリオール」の CO₂ 含有量は約 20 パーセントです。その他のプロジェクトでは、実験室ですでに 40 パーセントを超える含有量を達成しています。コベストロは、軟質フォームだけでなく、その他の製品の製造にも CO₂ を使用することを目指しています。実験室ですでにテストされている製品には、硬質フォームとエラストマーの構成原料があります。また、技術ライセンスの供与にも積極的です。それによって、業界全体において限りある石油資源を保全する一方で、エネルギーの消費量が高く、二酸化炭素を多く排出する石油精製を減らすこととなります。

.....

コベストロ社について

コベストロ社は 2015 年度売上高が 121 億ユーロの世界最大のポリマー製造企業のひとつです。主たる活動分野は、高機能ポリマー材料の生産、および日常生活の多くの分野で使用されている製品の革新的ソリューションの開発です。主要な顧客は、自動車、電気／電子、建築、スポーツ・レジャーの各産業です。コベストロ社（旧バイエルマテリアルサイエンス社）は、世界中の 30 拠点に生産施設があり、社員数は 2015 年末で約 15,800 人です。詳しくはこちらをご覧ください。 www.covestro.jp www.co2-dreams.covestro.com

【この件に関するお問い合わせ先】

コベストロジャパン株式会社

〒105-0011 東京都港区芝公園 1-7-6 クロスプレイス浜松町 7F

広報部 梅澤 Tel:03-6403-9112 / Fax:03-3436-1540

将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)

このニュースリリースには、コベストロ社による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements) が含まれている可能性があります。さまざまな既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因にはコベストロのウェブサイト (www.covestro.com) に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。コベストロは、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負うものではありません。